

《そう合問題7》
もんだい

いろいろなしゅるいの文章問題をといてみよう。問題を
とくときは、本文をよく読み、内ようをしつかり理かいす
ることが大切です。

【例題】

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミの家の近くに、この前新しいケーキ屋さんができま
した。開店でにぎわうお店で、ユミのお母さんもケーキを
買ってきてくれました。さっそく、二人でおやつに食べて
います。

(お母さん) このお店のケーキ、とってもおいしいよって、
ケンタ君のお母さんが教えてくれたんだ。それで、
じゃあ食べてみようって思ってた。買ってきたの。

(ユミ) へえ、そうなんだ。でも、たしかにおいしいと
思う。ごはんが全部、ケーキとかおかしだったら
いいのに。ケーキやおかしでも、おなかがいっぱ
いになるでしょう。ねえママ、それじゃだめなの。
(お母さん) あはは。その気持ち、分かるわ。でもさんねん
ながらそうはいかないのよね。

(ユミ) え、どうして。
(お母さん) いつものごはんって、お米とか、お肉とか、野
さいとか、いろいろ食べるでしょう。食べ物によつ

て、入っているえいようがちがうのよ。

(ユミ) どういうこと。

(お母さん) たとえば、おなかがへると力が出ないでしょう。
体そのものは、おなかがへる前とか変わったわけじゃ
ないのに、力が出ない。それは、エネルギーが切
れるからなの。自動車だって、ガソリンがなけれ
ば走れないでしょう。

(ユミ) たしかに、それはそうね。

(お母さん) そのガソリンの役目をするのが、お米とかパン
とかで、ケーキとかおかしとか、あまい物はそれ
と同じえいようが多いのよ。

(ユミ) じゃあ、ケーキでいいんじゃない。

(お母さん) そうでもないのよ。いくらガソリンがあっても、
こしようにしたら、自動車は動かないでしょう。

(ユミ) それはそうだと思うよ。

(お母さん) 人間の体も、部品がしっかりしていて、調子が
整っていないと、これまた力が出ないんだなあ。

(ユミ) 体の部品って、何なの。

(お母さん) たとえば、きん肉。きん肉って、聞いたことな
いかなあ。うでのこのへんとか、あしのこのへん
とか、力を入れたときに動くでしょう。

(ユミ) 聞いたことある気がする。

(お母さん) きん肉は、体を動かすためにはたらくの。これ
がないと体は動かない。ユミはこれから大きくなつ

ていくでしょう。そのためには、食べた物からきん肉も作らないといけないのよ。

(ユミ) そうか。

(お母さん) 体を作るためのえいようは、ケーキにはあまり入っていないんだ。お肉や魚やたまごには、体を作るえいようがたっぷりなのよ。

(1) 新しいケーキ屋さんのケーキがおいしいことをユミのお母さんに教えてくれたのはだれですか。

(2) いつものごはんでは、いろいろなものを食べますが、食べ物によってちがうのはなんですか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

入っている()がちがう。

(3) お米、肉、野さいの中で、自動車のガソリンの役目をするものはどれですか。

(4) 次のア～エの中から、本文の内ようと合うものをえらびましょう。

ア きん肉は、お米に入っているえいようから作られる。

イ きん肉は、体を動かすためのエネルギーになる。

ウ ユミが大きくなっていくためには、食べた物からきん肉を作らなければならない。

エ きん肉を作るためのえいようは、ケーキにたっぷり入っている。

【かい答】

- (1) ケンタ君のお母さん (2) えいよう
(3) お米 (4) ウ

【かいせつ】

文章の中に書いてあることをたしかめて答えましょう。
次のように書いてあります。

(1) このお店のケーキ、とってもおいしいよって、ケンタ君のお母さんが教えてくれたんだ。

(2) 食べ物によって、入っているえいようがちがうのよ。

(3) そのガソリンの役目をするのが、お米とかパンとかで、

(4) ア お肉や魚やたまごには、体を作るえいようがたっぷりなのよ。

イ きん肉は、体を動かすためにはたらくの。

ウ そのためには、食べた物からきん肉も作らないといけないのよ。

エ 体を作るためのえいようは、ケーキにはあまり入っていないんだ。

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミはお母さんとケーキを食べながら、食べ物^{もの}の話をしています。

(ユミ) ねえ、ママ。頭がよくなるためのえいようって、

何に入ってるの。

(お母さん) え、そうねえ。やっぱり、けんこうで、勉強^{べん}して

いるときにしっかり頭がはたらくのがいいんじゃないかなあ。

(ユミ) そうかあ。

(お母さん) それに、体^{つか}って、よく使うところがきたえられ

ていくものなのよ。だから、何かスポーツをやっている人^{ひと}って、ほかのスポーツも上手^{じょうず}でしょう。

きつと、いつもやっていない人より、いろんなきん肉^{きんにく}がきたえられているんだよね。

(ユミ) 頭もそうかなあ。

(お母さん) そう思うよ。そういえば、頭を使うのは勉強^{べん}だ

けじゃないのよ。指先^{ゆびさき}の細かい作業^{さぎょう}は、頭のはたらきをよくするんだって。指先には神^{しん}けいがたく

さんあって、指先を使うと、頭もはたらいっているらしい。

そのばん、ユミはみんなではんごはんを食べながら、お父さんに聞いてみました。

(ユミ) ねえ、パパ。昼間ママと、頭がよくなるえいようって何かなあって話していたんだけど、何か知っ

ている。

(お父さん) 頭にいいんじゃないかっていわれているものもあるみたいだけど、まだこれって分かつてはいないみたいだよ。

(ユミ) そうなんだ。ざんねん。

(お母さん) じゃあ、指先を使うと頭がよくなるって本当。

(お父さん) それはあるかもしれないね。神^{しん}けいが育^{そだ}つのは

子どものときだから、いろんな方^{かた}ほうで頭を使うといいだろうね。

(お母さん) いろんな方^{かた}ほうって何なの。

(お父さん) たとえばスポーツ。スポーツできたえられるのは

きん肉^{きんにく}だって思うだろう。でも、スポーツは頭もきたえられるんだよ。

(お母さん) え、どうして。

(お父さん) 体を動か^{うご}かすとき、頭はきん肉に命^{めい}れいをいろいろ出して^だしているんだ。それに、まわりを見て、パツパツて考えないといけないよね。

(お母さん) たしかに。

(お父さん) いろんなことを感^{かん}じるのも、頭のはたらきだよ。よくねて、えいようをとって、勉強^{べん}したり、運動^{うんどう}したり、遊^{あそ}んだり。それがいちばんじゃないかな。

それに、とくべつなことなんて、やってもつづかないだろう。

それならできそうだと、ユミは安心^{あんしん}したのでした。

(1) ユミのお母さんは、頭がよくなるためには何がいちばんだと言っていますか。() に当てはまる言葉を書きましよう。

勉強しているときに、しっかり頭が() こと。

(2) 体の中で、きたえられていくのはどういうところですか。() に当てはまる言葉を書きましよう。

() ところ

(3) 指先の細かい作業が頭のはたらきをよくするのは、指先に何がたくさんあるからですか。

(4) 体を動かすとき、頭はきん肉に何を出していますか。

(5) 次のア～エの中から、お父さんが頭をよくするためにいいことだと言っていないものをえらびましよう。

- ア よくねること
- イ わらうこと
- ウ えいようをとること
- エ 遊ぶこと

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミはお母さんと二人で、お父さんを待っています。今日は、お母さんのたん生(たん)日(び)なので、三人でレストランに行くことになり、駅で待ち合わせをしたのでした。

(ユミ) パパ、早く来ないかなあ。もしかして仕事が終わるのがおそくなってるとか。

(お母さん) だいじょうぶよ。それなら電話をくれるから。あ、電話だ。きつと。パパからよ。もしもし。うん、分かった。あと五分ぐらいで来るって。

(ユミ) よかったあ。

(お母さん) 今はけいたいがあるから、待ち合わせもべんりよね。けいたいがいないころの人たちは、たいへんだっただろうね。

(ユミ) そうか。きつとそうだね。おそくなるって、電話できないもんね。

(お母さん) でしょう。でも、ユミはまだもってないから、友だちと待ち合わせをするの、たいへんね。

(ユミ) うーん。どうかなあ。だいたいいつもの場所待ち合わせるから、こまったことないなあ。

(お母さん) そうか。たしかに家の近くで待ち合わせだもんね。こまったら家まで行けばいいし。

(ユミ) うん。

(お母さん) 家からはなれたところで待ち合わせして、時間

どおりに会えないとするでしょう。そうすると、場所がちがうかなあとか、時間をまちがったかなあとか、だんだん心配になってくる。

(ユミ) それはこまるね。

(お母さん) さがしに行きたいけど、ほかの場所に行ってるうちに相手が来たらと思うとそれもこまるし、そうなるとうしろもうもないよね。

(ユミ) うん。分かる気がする。でも、今はけいたいがあから何も心配はいらないね。

(お母さん) そう思うでしょう。ところが、あまり安心しすぎるのもよくない。

(ユミ) どうして。

(お母さん) たまに、けいたいを家におきわすれてきちやうことだってあるでしょう。電池が切れることもあるし、電波がとどかないこともある。

(ユミ) それって、どきどきものだね。

(お母さん) そうなのよ。だから、そうなったときにどうするか、ふだんから考えておかないとね。パパは、そんなときは動き回らずじっとしててって言うんだ。だから、パパと待ち合わせをするときは少しだけ安心なの。それで会えなければ、来られなくなっただなあって思えるから。

(ユミ) へえ、そんな話をしているんだ。

(お母さん) ユミも待ち合わせのやくそくをするときには、

会えないときにどうするか、決めておくといいよ。

(ユミ) うん、わかった。

話しているうちに、お父さんがやってきました。さあ、おいしい食事^じを食べに行きましょう。

(1) ユミとお母さんの二人は、お父さんとどこで待ち合わせをしていますか。

(2) ユミがけいたいをもっていないなくてもこまらないのはなぜですか。()に当てはまる言葉^{ことば}を書きましょう。

いつも待ち合わせをする場所が()だから。

(3) 待ち合わせをして、時間どおり会えないとき、お母さんはどう思いますか。次のア～エの中から、当てはまらないものをえらびましょう。

ア 場所がちがうのかなあ。

イ 時間をまちがったかなあ。

ウ さがしに行っているうちに来たらどうしよう。

エ 待っていれば来るからだいじょうぶ。

(4) けいたいがあるからといって、安心しすぎるとよくないのはなぜですか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

家におきわされることや、()ことや、電波がとどかないことがあるから。

(5) お父さんは、お母さんに、待ち合わせをして会えないときは、どうしてほしいと言っていますか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

動き回らずに()いてほしい。

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミはお母さんとケーキを食べながら、食べ物^{もの}の話をしています。

(ユミ) ねえ、ママ。頭がよくなるためのえいようって、

何に入ってるの。

(お母さん) え、そうねえ。やっぱり、けんこうで、勉強^{べん}して

いるときにしっかり頭がはたらくのがいいんじゃないかなあ。

(ユミ) そうかあ。

(お母さん) それに、体^{つか}って、よく使うところがきたえられ

ていくものなのよ。だから、何かスポーツをやっている人^{ひと}って、ほかのスポーツも上手^{じょうず}でしょう。

きつと、いつもやっていない人より、いろんなきん肉^{きんにく}がきたえられているんだよね。

(ユミ) 頭もそうかなあ。

(お母さん) そう思うよ。そういえば、頭を使うのは勉強^{べん}だ

けじゃないのよ。指先^{ゆびさき}の細かい作業^{さぎょう}は、頭のはた

らきをよくするんだって。指先^{ゆびさき}には神^{しん}けいがたくさんあつて、指先^{ゆびさき}を使うと、頭もはたらい

らしい。

そのばん、ユミはみんなではんごはんを食べながら、お父^{ちち}さんに聞いてみました。

(ユミ) ねえ、パパ。昼間ママと、頭がよくなるえいよ

うって何かなあつて話^わしていたんだけど、何か知^しっ

ている。

(お父さん) 頭にいいんじゃないかっていわれているものもあるみたいだけど、まだこれって分^わかっているはいみだいだよ。

(ユミ) そうなんだ。ざんねん。

(お母さん) じゃあ、指先^{ゆびさき}を使うと頭がよくなるって本当^{まこと}。

(お父さん) それはあるかもしれないね。神^{しん}けいが育^{そだ}つのは

子どものときだから、いろんな方^{かた}ほうで頭を使うといいだろうね。

(お母さん) いろんな方^{かた}ほうって何なの。

(お父さん) たとえばスポーツ。スポーツできたえられるの

はきん肉^{きんにく}だって思うだろう。でも、スポーツは頭もきたえられるんだよ。

(お母さん) え、どうして。

(お父さん) 体を動か^{うご}かすとき、頭はきん肉^{きんにく}にいろんな命^{いのち}れいを出^でしているんだ。それに、まわりを見て、パッパッて考えないといけないよね。

(お母さん) たしかに。

(お父さん) いろんなことを感^{かん}じるのも、頭のはたらきだよ。よくねて、えいようをとって、勉強^{べん}したり、運動^{うんどう}したり、遊^{あそ}んだり。それがいちばんじゃないかな。

それに、とくべつなことなんて、やってもつづかないだろう。

それならできそうだと、ユミは安^{あん}心^{しん}したのでした。

(1) ユミのお母さんは、頭がよくなるためには何がいちばんだと言っていますか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

()で、勉強しているときに、しっかり頭がはたらくこと。

(2) 体の中で、よく使うところはようになっていきますか。

()に当てはまる言葉を書きましょう。

()いく。

(3) お母さんは、勉強のほかに何が頭のはたらきをよくすると言いましたか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

()の細かい作業

(4) 体を動かすとき、頭は何に命れいを出していますか。

(5) 次のア～エの中から、お父さんが頭をよくするためにいいことだと言っていないものをえらびましょう。

- ア よくねること
- イ 遊ぶこと
- ウ えいようをとること
- エ わらうこと

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミはお母さんと二人で、お父さんを待っています。今日は、お母さんのたん生(たんせい)日(ひ)なので、三人でレストランに行くことになり、駅(えき)で待ち合わせをしたのでした。

(ユミ) パパ、早く来ないかなあ。もしかして仕事(しごと)が終わるのがおそくなってるとか。

(お母さん) だいじょうぶよ。それなら電話をくれるから。あ、電話だ。きつと。パパからよ。もしもし。うん、分かった。あと五分ぐらいで来るって。

(ユミ) よかったあ。

(お母さん) 今はけいたいがあるから、待ち合わせもべんりよね。けいたいがいないころの人たちは、たいへんだっただろうね。

(ユミ) そうか。きつとそうだね。おそくなるって、電話できないもんね。

(お母さん) でしょう。でも、ユミはまだもってないから、友だちと待ち合わせをするの、たいへんね。

(ユミ) うーん。どうかなあ。だいたいいつもの場所(しよ)で待ち合わせるから、こまったことないなあ。

(お母さん) そうか。たしかにいつも家の近くで待ち合わせだもんね。こまったら家まで行けばいいし。

(ユミ) うん。

(お母さん) 家からはなれたところで待ち合わせして、時間

どおりに会えないとするでしょう。そうすると、日をまちがえたかなあとか、時間をまちがったかなあとか、だんだん心配(しんぱい)になってくる。

(ユミ) それはこまるね。

(お母さん) さがしに行きたいけど、ほかの場所に行ってるうちに相手(あひ)が来たらと思うとそれもこまるし、そうなるとうしろもうもないよね。

(ユミ) うん。分かる気がする。でも、今はけいたいがあるから何も心配(しんぱい)はいらないね。

(お母さん) そう思うでしょう。ところが、あまり安心(あんしん)しすぎるのもよくない。

(ユミ) どうして。

(お母さん) たまに、けいたいを家におきわすれてきちやうことだってあるでしょう。電池が切れることもあるし、電波(でんぱ)がとどかないこともある。

(ユミ) それって、どきどきものだね。

(お母さん) そうなのよ。だから、そうなったときにどうするか、ふだんから考えておかないとね。パパは、そんなときは動き(うご)回(くわ)らずに待ち合わせの場所(しよ)にいてねって言うんだ。だから、パパと待ち合わせをするときは少しだけ安心(あんしん)なの。それで会えなければ、来られなくなっただなあって思えるから。

(ユミ) へえ、そんな話(わ)をしているんだ。

(お母さん) ユミも待ち合わせのやくそくをするときには、

会えないときにどうするか、決めておくといいよ。

(ユミ) うん、わかった。

話しているうちに、お父さんがやってきました。さあ、おいしい食事^じを食べに行きましょう。

(1) ユミとお母さんは、お父さんと待ち合わせをしてどこに行きますか。

(2) ユミは、友だちとの待ち合わせをいつもどこでしますか。()に当てはまる言葉^{ことば}を書きましょう。

()の近く

(3) 待ち合わせをして、時間どおり会えないとき、お母さんはどう思いますか。次のア～エの中から、当てはまらないものをえらびましょう。

ア 場所がちがうのかなあ。

イ 時間をまちがったかなあ。

ウ さがしに行っているうちに来たらどうしよう。

エ 日をまちがえたかなあ。

(4) けいたいがあるからといって、安心しすぎるとよくないのはなぜですか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

家におきわすれることや、電池が切れることや、()がとどかないことがあるから。

(5) お父さんは、お母さんに、待ち合わせをして会えないときは、どうしてほしいと言っていますか。()に当てはまる言葉を書きましょう。

動き回らず、()にいてほしい。



次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミはお母さんと、友だちのことを話しています。

(ユミ) ママ。同じクラスのケンタ君がね、この前、横

だん歩道をわたれなくてこまっているおじいちゃんを助けていたんだよ。はたを持って車に止まってもらって、いっしょにわたった。

(お母さん) へえ、えらいね。大人でもそんな人はなかなかいない気がする。

(ユミ) そうでしょう。ケンタ君はいつもみんなにやさしいんだ。

(お母さん) やっぱりやさしい友だちっていいよね。ユミは友だちにやさしくしてあげてるの。

(ユミ) うん、やさしくしてるよ。この前、消しゴムをわすれた人がいたから、かしてあげた。ふで箱に二つ入っていたんだ。

(お母さん) そう。ユミもえらいわね。

(ユミ) やさしくしてもらってもうれしいけど、ありがとうって言われるのも同じくらいうれしいよね。わたし、そう思うの。

(お母さん) そういえば、そうかもしれないね。

(ユミ) それから、タカシ君って知ってるよね。

(お母さん) うん、知ってるよ。

(ユミ) タカシ君はいつも元気いっぱいだから、いっしょ

にいと元気になれるの。

(お母さん) へえ、そんなことあるんだ。

(ユミ) 先生におこられたりとか、友だちとちょっとけんかしちゃったりとかしたとき、悲しい気持ちになるでしょう。でも、タカシ君が近くで元気に話してたりすると、そんな気持ちが消えていく気がするんだ。

(お母さん) ああ、そういうことね。それならママにも分かるわ。自分が悪いって分かっているのに、何か言われてプンプンしちゃったりすると、なんとなくいやな気持ちになるのよね、自分のことが。そんなとき、元気な友だちと会って、すなおにごめんなさいって言えば、そんな気分がしてくるわ。

(ユミ) うん。そんな感じ。おこられたのは自分が悪かったんだからしょうがないとか、やっぱりあやまろうとか、そんな気持ちになれて、元気が出るの。

(お母さん) そう。そういう人っているよね。そんな人になれたらいいね。

(ユミ) うん。そう思う。でも、わたし、ママのそばにいたときも元気になるよ。

(お母さん) あら、そう。ありがとう。ユミはやさしいね。

二人は顔を見合わせてわらいました。



(1) ケンタ君が助けたおじいさんは、どこをわたれなくてこまっていたか。

(2) ユミが友だちにかしてあげたものはなんですか。

(3) ユミが、やさしくしてもらったのと同じくらいうれしいのは、なんとと言われるときですか。

(4) 先生におこられたときや、友だちとけんかしたときに、ユミはどんな気持ちになりますか。() に当てはまる言葉を書きましょう。

() 気持ち

(5) ユミは、タカシ君が近くにいると元気が出ます。ほかに、だれのそばにいたときに元気になりますか。



次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

ユミはお母さんと、友だちのことを話しています。

(ユミ) ママ。同じクラスのケンタ君がね、この前、横

だん歩道をわたれなくてこまっているおじいちゃんを助けていたんだよ。はたを持って車に止まってもらって、いっしょにわたった。

(お母さん) へえ、えらいね。大人でもそんな人はなかなかいない気がする。

(ユミ) そうでしょう。ケンタ君はいつもみんなにやさしいんだ。

(お母さん) やっぱりやさしい友だちっていいよね。ユミは友だちにやさしくしてあげてるの。

(ユミ) うん、やさしくしてるよ。この前、消しゴムをわすれた人がいたから、かしてあげた。ふで箱に二つ入っていたんだ。

(お母さん) そう。ユミもえらいわね。

(ユミ) やさしくしてもらってもうれしいけど、ありがとうって言われるのも同じくらいうれしいよね。わたし、そう思うの。

(お母さん) そういえば、そうかもしれないね。

(ユミ) それから、タカシ君って知ってるよね。

(お母さん) うん、知ってるよ。

(ユミ) タカシ君はいつも元気いっぱいだから、いっしょ

にいと元気になれるの。

(お母さん) へえ、そんなことあるんだ。

(ユミ) 先生におこられたりとか、友だちとちよっとけんかしちゃったりとかしたとき、悲しい気持ちになるでしょう。でも、タカシ君が近くで元気に話してたりすると、そんな気持ちが消えていく気がするんだ。

(お母さん) ああ、そういうことね。それならママにも分かるわ。自分が悪いって分かっているのに、何か言われてプンプンしちゃったりすると、なんとなくいやな気持ちになるのよね、自分のことが。そんなとき、元気な友だちと会って、すなおにごめんなさいって言えば、そんな気分がしてくるわ。

(ユミ) うん。そんな感じ。おこられたのは自分が悪かったんだからしょうがないとか、やっぱりあやまろうとか、そんな気持ちになれて、元気が出るの。

(お母さん) そう。そういう人っているよね。そんな人になれたらいいね。

(ユミ) うん。そう思う。でも、わたし、ママのそばにいるときも元気になるよ。

(お母さん) あら、そう。ありがとう。ユミはやさしいね。

二人は顔を見合わせてわらいました。



(1) ケンタ君は、おじいさんをどのようにして助けましたか。() に当てはまる言葉を書きましよう。

はたを持って() に止まってもらい、いっしょに横だん歩道をわたった。

(2) ユミが友だちに消しゴムをかしてあげたとき、ユミは消しゴムをいくつ持っていましたか。

(3) ユミは、ありがとうと言われるとどんな気持ちになりますか。() に当てはまる言葉を書きましよう。
やさしくしてもらったときと同じくらい()。

(4) ユミはどんなときに悲しい気持ちになりますか。() に当てはまる言葉を書きましよう。

() におこられたときや、友だちとけんかしたとき。

(5) ユミは、お母さんのそばにいるときに、どうなると言いましたか。